

- 26) 松井祥子：たばこの害と禁煙法. 平成15年度富山県禁煙セミナー, 2003, 11, 富山.
- 27) 薄井 勲, 石塚 健, 平谷和幸, 賀 劍英, 岩田 実, 宇野立人, 川原順子, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林 正：炎症に伴うインスリン抵抗性の機序の解明. 第10回インスリン抵抗性研究会, 2003, 11, 富山.
- 28) 川原順子, 金谷由紀子, 福島泰男, 宇野立人, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正：びまん性肺胞出血の治療経過中に血球貪食症候群を合併した全身性エリテマトーデスの1例. 第40回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 2003, 11, 金沢.
- 29) 岩田 実：糖尿病の予防について. 平成15年度大山町糖尿病教室, 2003, 12, 富山.
- 30) 藤田 聡：気管支肺カルチノイドの1例. 第2回北陸呼吸器画像セミナー, 2003, 12, 金沢.
- 31) 川原順子, 浦風雅春, 小橋親晃, 岸田みか, 薄井 勲, 佐藤 啓, 山崎勝也, 笹岡利安, 小林 正：PGE1の投与で動眼神経麻痺の改善を認めた高齢2型糖尿病の1例. 北陸糖尿病集談会, 2003, 12, 金沢.
- 32) 小林 正：神通川流域住民健康調査検討会報告(座談). 神通川流域住民健康調査検討会報告書, 1-142, 2003.
- 33) 松井祥子, 中川 肇, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 林 隆一：在宅酸素療法管理支援システムの構築. 第7回遠隔医療研究会論文集, 42-43, 2003.
- 34) 松井祥子：たばこ依存症. 看護とやま, 67:11, 2003.
- 35) 佐藤 啓：糖尿病の動脈硬化の臨床的評価. Current Diabetes, 5:13-14, 2003.

## 内 科 学 (2)

### Internal Medicine (2)

|      |       |                   |
|------|-------|-------------------|
| 教 授  | 井上 博  | Hiroshi Inoue     |
| 助 授  | 麻野井英次 | Hidetsugu Asanoi  |
| 講 師  | 藤木 明  | Akira Fujiki      |
| 講 師  | 能澤 孝  | Takashi Nozawa    |
| 助 手  | 供田 文宏 | Fumihito Tomoda   |
| 助 手  | 平井 忠和 | Tadakazu Hirai    |
| 助 手  | 亀山 智樹 | Tomoki Kameyama   |
| 助 手  | 上野 均  | Hitoshi Ueno      |
| 助 手  | 水牧 功一 | Koichi Mizumaki   |
| 助 手  | 井川 晃彦 | Akihiko Igawa     |
| 助 手  | 城宝 秀司 | Shuji Joho (研究休職) |
| 文部技官 | 野手姫代美 | Kiyomi Note       |

### ◆ 著 書

- 1) 井上 博：心房細動, 心房粗動. 山口 徹, 北原光夫総編集, 今日の治療指針 2003:252-253, 医学書院, 東京, 2003.
- 2) 井上 博：抗不整脈薬. 矢崎義雄監修, 治療薬 Up-to-Date 2003:163-167, 2003.
- 3) 井上 博：不整脈薬物治療の位置づけ. 新博次編集, 抗不整脈薬の新たな展開:14-17, 医薬ジャーナル社, 東京, 2003.
- 4) 井上 博：植え込み型除細動器の最近の進歩. 杉下靖郎, 門間和夫, 矢崎義雄, 高本眞一編集, Annual Review 循環器 2003:186-192, 中外医学社, 東京, 2003.
- 5) 井上 博：抗不整脈薬 (Ib群). 和田 攻, 大久保昭行, 矢崎義雄, 大内尉義編集, 治療薬ガイド 2003~2004:207-210, 文光堂, 東京, 2003.
- 6) 麻野井英次：心筋梗塞後のリハビリテーション, 運動療法. 今日の治療指針2003年版, 山口 徹, 北原光夫総編集:299-300, 医学書院, 東京, 2003.
- 7) 麻野井英次：夜間酸素療法の意義と適応. 堀正二編集, 循環New Trends シリーズ, 心不全治療への挑戦:69-76, Medical View社, 東京, 2003.
- 8) 能澤 孝, 井上 博：循環器疾患. 和田 攻, 大久保昭行, 矢崎義雄, 大内尉義編集, 臨床検査ガイド 2003~2004:54-59, 文光堂, 東京, 2003.
- 9) 井上 博：心電図. 杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦総編集, 内科学:518-525, 朝倉書店, 東京, 2003.
- 10) 藤木 明, 井上 博：薬剤による不整脈. 小川聡, 大江 透, 井上 博編, 抗不整脈薬のすべて,

- 第2版:225-233, 先端医学社, 東京, 2003.
- 11) 井上 博:(項目執筆), 伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨編集, 医学大辞典, 医学書院, 2003.
  - 12) 井上 博:ピルジカイニド. 平岡昌和, 山下武志, 中谷晴昭, 有田眞編集, 緩徐解離型Naチャンネル遮断薬の実際; エビデンスに基づく抗不整脈薬の使い方: 45-58, ライフメディコム, 東京, 2003.
  - 13) 井上 博: V1で高いR波をみたら? 小川 聡編集, 心電図検査のコツと落とし穴: 156-157, 中山書店, 東京, 2003.
  - 14) 井上 博: 心房細動, 心房粗動. 高久史磨総監修, 外来診療のすべて 改訂第3版: 290-291, メディカルビュー社, 東京, 2003.
  - 15) 菅生昌高, 井上 博: 正常の心臓の動きとリズムの関係を教えて下さい。また心臓の興奮発生の機序, 自動能について教えて下さい。相澤義房編集, 不整脈診療ガイドランス: 10-11, メディカルビュー社, 東京, 2003.
  - 16) 井上 博: 不整脈. 黒川 清, 松澤佑次編集主幹, 内科学(第2版): 447-455, 文光堂, 東京, 2003.
  - 17) 小川 聡, 大江 透, 井上 博編集: 抗不整脈薬のすべて, 第2版, 先端医学社, 2003.
  - 18) 井上 博編集: 新不整脈学. 南江堂, 東京, 2003.
  - 19) 井上 博編集: Medical Topics Series 不整脈 2003. メディカルビュー社, 東京, 2003.
  - 20) 藤木 明: 催不整脈作用. 新 博次編, 抗不整脈薬の新たな展開: 283-294, 医薬ジャーナル社, 東京, 2003.
  - 21) 藤木 明: 植込み型除細動器と突然死. 井上 博編, 不整脈 2003: 206-215, メディカルビュー社, 東京, 2003.
  - 22) 藤木 明: 心房受攻性からみた心房細動発生要因. 杉本恒明監修, 井上 博編集, 新不整脈学: 298-301, 南江堂, 東京, 2003.
  - 23) 藤木 明: 心房細動における心拍数コントロール. 杉本恒明監修, 井上 博編集, 新不整脈学: 307-309, 南江堂, 東京, 2003.
  - 24) 藤木 明: 心室頻拍か変行伝導か. 小川聡編集, 心電図検査のコツと落とし穴: 70-71, 中山書店, 東京, 2003.
  - 25) 藤木 明: 心房粗動の分類と心電図での鑑別について教えてください。相澤義房編集, 不整脈診療ガイドランス: 4-6, メディカルビュー社, 東京, 2003.
  - 26) 水牧功一: Head-up tilt試験. 杉本恒明監修, 井上 博編, 新不整脈学: 162-164, 南江堂, 東京, 2003.

#### ◆ 原 著

- 1) Yamashita T, Ogawa S, Aizawa Y, Atarashi H, Inoue H, Ohe T, et al on behalf of the J-RHYTHM Investigators: Investigation of the optimal treatment strategy for atrial fibrillation in Japan. The J-RHYTH (Japanese Rhythm Management Trial for atrial Fibrillation) study design. *Circ J* 67:738-741, 2003.
- 2) Yamada K, Asanoi H, Takagawa J, Joho S, Kameyama T, Hirai T, Nozawa T, Inoue H: Parametric system identification of arterial baroreflex with random perturbation of blood pressure in normal subjects. *J Cardiovasc Pharmacol* 42(suppl 1):S11-S13, 2003.
- 3) 山田邦博, 麻野井英次, 山寄継敬, 織田慶孝, 上野博志, 城宝秀司, 亀山智樹, 能沢 孝, 井上 博: 慢性心不全患者の運動時換気指標による中枢性炭酸ガス感受性の推定. *心臓*35(特別号2):52-54, 2003.
- 4) Taguchi M, Nozawa T, Kameyama T, Inoue H, Takesono C, Mizukami A, Hashimoto Y: Effect of CYP2D6\*10 on pharmacokinetic variability of routinely administered metoprolol in middle-aged and elderly Japanese patients. *Eur J Clin Pharmacol* 59:385-388, 2003.
- 5) Sakabe M, Fujiki A, Tani M, Nishida K, Mizumaki K, Inoue H.: Proportion and prognosis of healthy people with coved or saddle-back type ST segment elevation in the right precordial leads during 10 years follow-up. *Eur Heart J*. 2003;24:1488-1493, 2003.
- 6) Fujiki A, Tsuneda T, Sugao M, Mizumaki K, Inoue H: Usefulness and safety of bepridil in converting persistent atrial fibrillation to sinus rhythm. *Am J Cardiol*. 2003;92:472-475, 2003.
- 7) 藤木 明, 常田孝幸, 菅生昌高, 水牧功一, 井上 博: 薬理的除細動が困難とされる持続性心房細動に対するベプリジルとアプリンジンの併用効果. 体表面心電図細動波の周波数解析. *Therapeutic Research* 2003;24:702-707, 2003.
- 8) Fujiki A, Sakabe M, Nishida K, Mizumaki K, Inoue H: Role of fibrillation cycle length in spontaneous and drug-induced termination of human atrial fibrillation Spectral analysis of fibrillation waves from surface electrocar-

diogram. *Circ J* 2003;67:391-395, 2003.

- 9) Takahashi T, Ueno H, Yasumoto K, Kagitani S, Tomoda F, Inoue H, Takata M: Angiotensin-converting enzyme-gene polymorphism is associated with collagen I synthesis and QT dispersion in essential hypertension. *J Hypertens* 21:985-991, 2003.
- 10) Igawa A, Nozawa T, Fujii N, Kato B, Asanoi H, Inoue H.: Long-term treatment with low-dose, but not high-dose, guanethidine improves ventricular function and survival of rats with heart failure after myocardial infarction. *J Am Coll Cardiol* 42:541-548, 2003.
- 11) Yoshida N, Nozawa T, Nonomura M, Igarashi N, Fujii N, Igawa A, Asanoi H, Seto H, Inoue H: Supersensitive response to isoproterenol in patients with marked global reduction of cardiac metaiodobenzyl-guanidine uptake. *Circ J* 67:745-749, 2003.
- 12) 水牧功一, 藤木 明, 阪部優夫, 西田邦洋, 菅生昌高, 常田孝幸, 長沢秀彦, 井上 博: 高齢者 Brugada型心電図症例の特徴. *心臓*35(Suppl3): 15-22, 2003.
- 13) Sakurai K, Hirai T, Nakagawa K, Kameyama T, Nozawa T, Asanoi H, Inoue H. Left Atrial Appendage Function and Abnormal Hypercoagulability in Patients With Atrial Flutter. *Chest*. 124:1670-1674, 2003.
- 14) Nozawa T, Inoue H, Iwasa A, Okumura K, Jong-dae L, Shimizu A, Hayano M, Yano K: Effects of anticoagulation intensity on hemostatic markers in patients with non-valvular atrial fibrillation. *Circ J* 68:29-34, 2003.

#### ◆ 症例報告

- 1) 小池 勤, 山田邦博, 絹野裕之, 平出 聡, 上野 均, 泉野 潔, 供田文宏, 井上 博, 高田正信: 持続的血液濾過透析が多臓器不全の改善に有効であった急性胃拡張の1例. *日本透析医学会雑誌* 37巻5号, 2003.
- 2) 織田慶孝, 高嶋修太郎, 浅岡悦子, 田口芳治, 井上 博: 血腫吸引術施行2ヶ月後に発症した脳膿瘍の1例. *神経内科* 58:407-411, 2003.
- 3) Taguchi Y., Takashima S., Kusunoki S., Asaoka E., and Inoue H: Chronic sensory ataxic neuropathy with polyclonal IgM reactivity to various disialosyl gangliosides.

*Muscle & Nerve* 28:128-129, 2003.

#### ◆ 総 説

- 1) 井上 博: 心房細動治療の進歩; 内科治療の基本方針—洞調率維持カレートコントロールカー. *日内会誌* 92:1717-1721, 2003.
- 2) 井上 博: 心房細動の概念・定義: 疫学・予後. 笠貫 宏編, 最新医学別冊, 新しい診断と治療のABC15, 循環器2, 心房細動, 最新医学社, 16-24, 2003.
- 3) 井上 博: 不整脈, 別冊NHKきょうの健康, 心臓の病気. 不安と疑問に答える診断・治療の最新情報. NHK出版, 30-39, 2003.
- 4) 篠山重威, 麻野井英次, 和泉 徹: 慢性心不全と睡眠呼吸障害—在宅酸素療法の新しい可能性. *Ther Res* 24:313-320, 2003.
- 5) 麻野井英次: 心不全の重症度評価—実際のなアプローチとは. *内科* 91:431-434, 2003.
- 6) 麻野井英次: 強心薬の新しい位置づけ. *Heart View* 7:114-117, 2003.
- 7) 麻野井英次: 強心薬. *日本臨床* 5:827-832, 2003.
- 8) 麻野井英次: 慢性心不全における睡眠時呼吸障害と交感神経活動—心不全の悪性サイクル—. *医学のあゆみ* 206:819-823, 2003.
- 9) 麻野井英次: 筋交感神経活動を用いた慢性心不全の病態解析. *循環制御* 24:202-206, 2003.
- 10) 麻野井英次, 高橋利之, 後藤葉一: 見逃されやすい心不全—拡張不全と右心不全. 心不全の治療戦略 1:1-10, 2003.
- 11) 藤木 明, 井上 博: 自律神経受容体の機能と細胞内情報伝達機能. *循環器科* 54:97-102, 2003.
- 12) 藤木 明, 井上 博: QT延長症候群. *ICUとCCU* 27:403-409, 2003.
- 13) 藤木 明, 井上 博: 頻脈性不整脈. 今月の治療 10:S55-S58, 2003.
- 14) 藤木 明: 心房細動患者にみられる電気現象をどのように把握し役立てるか? *Heart View* 7: 436-446, 2003.
- 15) 水牧功一, 井上 博: 心房細動治療のために識る自然歴, 疫学. *Heart View* 7:37-43, 2003.
- 16) 常田孝幸, 井上 博: 心疾患以外でみられる心電図変化. *診断と治療* 91:623-628, 2003.

#### ◆ 翻 訳

- 1) 井上 博: ハリソン内科学, 原書第15版, メディカル・サイエンス・インターナショナル, (循環器疾患の項の監訳, 239, 204章の訳主) 2003.

#### ◆ その他

- 1) 井上 博: 循環器研修ビジュアルシリーズ,

No.4, 抗不整脈薬の使い方(2). 日本循環器学会教育研修委員会. 2003.

- 2) 藤木 明: 不整脈 難治性不整脈のEBMに基づく治療. Medicament News 1769:8-10, 2003.
- 3) 藤木 明: 心筋虚血とST下降・上昇. 日本医事新報 4147:91, 2003.
- 4) 藤木 明: 心房細動の治療の実際 リズムコントロールの新たな展開. ライフサイエンス社, 東京, 2003.
- 5) 平井忠和: AHA2003学会速報 (VALIANT試験翻訳), 23-24, ヘスコインターナショナル, 2003.

#### ◆ 学会報告

- 1) 山寄継敬, 麻野井英次, 織田慶孝, 上野博志, 城宝秀司, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上博: 心拍変動を用いた終夜睡眠パターンの解析～心不全患者の重症度による差異～. 第105回日本循環器学会北陸地方会, 2003, 2, 金沢.
- 2) 常田孝幸, 藤木 明, 西田邦洋, 阪部優夫, 菅生昌高, 水牧功一, 井上 博: 心機能障害を伴うICD植込み症例におけるカルベジロールの有効性. 第105回日本循環器学会北陸地方会, 2003, 2, 金沢.
- 3) 折原理顕, 山寄継敬, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 麻野井英次, 井上 博, 三崎拓郎, 湖東慶樹, 中川圭子: 僧帽弁腱索周囲に増殖した左室内粘液腫の1例. 第105回日本循環器学会北陸地方会, 2003, 2, 金沢.
- 4) 田口芳治, 高嶋修太郎, 浅岡悦子, 井上 博, 富山県立高志リハビリテーション病院内科 井上雄吉: SIADHを合併した慢性炎症性脱髄性多発神経炎の1例. 第105回日本神経学会東海北陸地方会, 2003, 3, 静岡.
- 5) 傍島光男, 鍵谷聡志, 絹野裕之, 杉森弘子, 平出 聡, 菅原秀徳, 上野 均, 供田文宏, 泉野 潔, 井上 博, 三崎拓郎, 湖東慶樹: 急激な高血圧を契機に診断された壮年男性における胸部大動脈縮窄症の1例. 第189回日本内科学会北陸地方会, 2003, 3, 金沢.
- 6) 田口芳治, 高嶋修太郎, 浅岡悦子, 井上 博, 第一解剖学 大谷 修: ラット両側総頸動脈閉塞モデルにおける毛細血管構築の経時的検討. 第28回日本脳卒中学会, 2003, 3, 東京.
- 7) 浅岡悦子, 高嶋修太郎, 田口芳治, 井上 博: 心房細動停止時の脳塞栓症発症リスクに関する検討. 第28回日本脳卒中学会, 2003, 3, 東京.
- 8) 藤井 望, 能澤 孝, 井川晃彦, 吉田尚弘, 加

藤文一, 五十嵐典士, 野々村誠, 麻野井英次, 井上 博, 田沢周作, 井上 実: Insulin-stimulated glucose transport and fatty acid oxidation are impaired in hypertrophied hearts before heart failure. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.

- 9) 織田慶孝, 麻野井英次, 上野博志, 城宝秀司, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: Sympathetic neural burst power as a new sensitive index of sympathoexcitation in patients with heart failure. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 10) 山寄継敬, 麻野井英次, 織田慶孝, 上野博志, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: Central sympathoinhibition restores ultradian sleep rhythm and parasympathetic tone in patients with chronic heart failure. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 11) 山寄継敬, 麻野井英次, 織田慶孝, 上野博志, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: Ultradian dynamics of all-day heart rate control and physical activity in patients with chronic heart failure. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 12) 常田孝幸, 藤木 明, 西田邦洋, 阪部優夫, 菅生昌高, 水牧功一, 井上 博: Difference in quality of life between rate and rhythm control therapy for persistent atrial fibrillation. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 13) 阪部優夫, 藤木 明, 西田邦洋, 長沢秀彦, 水牧功一, 井上 博: Effects of angiotensin converting enzyme inhibitor on canine model of long term pacing-induced atrial fibrillation with infarct atrioventricular conduction. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 14) 山田邦洋, 麻野井英次, 山寄継敬, 織田慶孝, 上野博志, 城宝秀司, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: Relative contribution of physiological dead space and central chemoreflex to excessive ventilation in patients with chronic heart failure. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 15) 藤井 望, 能澤 孝, 井川晃彦, 吉田尚弘, 加藤文一, 五十嵐典士, 野々村誠, 麻野井英次, 井上 博, 田沢周作, 井上 実: Insulin-stimulated glucose transport and fatty acid oxidation are impaired in hypertrophied hearts before

- heart failure. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 16) 西田邦洋, 藤木 明, 水牧功一, 阪部優夫, 菅生昌高, 常田孝幸, 井上 博: Canine model of the Brugada syndrome using regional epicardial cooling of the right ventricular outflow. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 17) 平井忠和, 櫻井健二, 谷みね子, 亀山智樹, 能澤 孝, 麻野井英次, 北島 勲, 井上 博: Elevated levels of fibrin monomer as a predictor of thromboembolism in patients with atrial fibrillation. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 18) 中館照雄, 能澤 孝, 井川晃彦, 藤井 望, 松木 晃, 麻野井英次, 井上 博, 瀬戸 光: A brief episode of myocardial ischemia before acute myocardial infarction may attenuate cardiac sympathetic nerve injury. 第67回日本循環器学会総会・学術集会, 2003, 3, 福岡.
- 19) 野々村誠, 能澤 孝, 中館照雄, 松木 晃, 五十嵐典士, 加藤文一, 藤井 望, 井川晃彦, 麻野井英次, 井上 博, 瀬戸 光: Sympathetic neuronal function is coupled with the downregulation of  $\beta$ -Adrenoceptors in ischemic-reperfusion rat hearts. 日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 20) 松木 晃, 能澤 孝, 藤井 望, 加藤文一, 野々村誠, 五十嵐典士, 中館照雄, 井川晃彦, 麻野井英次, 井上 博, 瀬戸 光: Cardiac sympathetic nerve activity alters myocardial BMIPP uptake and its clearance. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 21) 水牧功一, 藤木 明, 阪部優夫, 西田邦洋, 菅生昌高, 常田孝幸, 長澤秀彦, 井上 博: Characteristics of high sged asymptomatic patients with Brugada-type ECG. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 22) 加藤文一, 能澤 孝, 井川晃彦, 藤井 望, 野々村誠, 五十嵐典士, 麻野井英次, 井上 博, 田沢周作, 井上 実: Effect of valsartan on the ischemia reperfusion injury of cardiac sympathetic nerve function and  $\beta$ -adrenoceptors. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 23) 藤井 望, 能澤 孝, 井川晃彦, 加藤文一, 五十嵐典士, 野々村誠, 中館照雄, 松木 晃, 麻野井英次, 井上 博, 田沢周作, 井上 実: Effect of carvedilol on fatty acid metabolism in rat hearts with ischemia-reperfusion injury. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 24) 水牧功一, 藤木 明, 常田孝幸, 阪部優夫, 西田邦洋, 菅生昌高, 井上 博: Vagal activity modulates spontaneous augmentation of ST elevation in Brugada syndrome. 第67回日本循環器学会, 2003, 3, 福岡.
- 25) 藤木 明, 阪部優夫, 西田邦洋, 常田孝幸, 菅生昌高, 水牧功一, 井上 博: Pharmacological conversion of long-lasting atrial fibrillation by bepridil with respect fibrillation wave characteristics. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 26) 能澤 孝, 井上 博, 岩佐 篤, 奥村 謙, 李鐘大, 清水昭彦, 早野元信, 矢野捷介: Combination with clinical risk factors and hemo static markers could better predict the risk for the thromboembolism in patients with atrial fibrillation. 第67回日本循環器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 27) 井上 博: Thrombogenesis is activated in patients with nonvalvular atrial fibrillation and risk factors for embolism. 第67回日本循環器学会, 2003, 3, 福岡.
- 29) Sakurai K., Hirai T., Nakagawa K., Kameyama T., Nozawa T., Asanoi H., Inoue H.: Relation between left atrial appendage function and abnormal hypercoagulability in patients with atrial flutter. 52nd Annual Scientific Session of American Collage of Cardiology, 2003, 3, Chicago.
- 30) 井上 博: 内科治療の基本方針; 洞調律維持かレートコントロールか. 第100回日本内科学会講演会シンポジウム「心房細動治療の進歩」, 2003, 4, 福岡.
- 31) 菅原秀徳, 泉野 潔, 杉森弘子, 鍵谷聡志, 平出 聡, 上野 均, 供田文宏, 井上 博: 半日体形成性糸球体腎炎における臨床および組織像と予後との関係. 第46回日本腎臓学会総会, 2003, 5, 東京.
- 32) 平出 聡, 供田文宏, 杉森弘子, 鍵谷聡志, 菅原秀徳, 上野 均, 泉野 潔, 井上 博: 心疾患患者での敗血症性ショックにおけるポリミキシンB固定化カラム吸着療法の問題点. 第46回日本腎臓病学会総会, 2003, 5, 東京.
- 33) 鍵谷聡志, 上野 均, 平出 聡, 高橋 徹, 高田正信, 井上 博: DOCA食塩高血圧ラットの炎症細胞浸潤と心筋線維化におけるアンジオテンシ

- ンIIの役割. 第46回日本腎臓病学会総会, 2003, 5, 東京.
- 34) 杉森弘子, 供田文宏, 絹野裕之, 小池 勤, 井上 博, 高田正信: 本態性高血圧患者における血液粘性と臓器障害との関連. 第46回日本腎臓病学会総会, 2003, 5, 東京.
- 35) 小池 勤, 供田文宏, 絹野裕之, 安本耕太郎, 杉森弘子, 井上 博, 高田正信: 本態性高血圧患者におけるLosartan長期間投薬後の暗算ストレス惹起性血小板活性化の抑制. 第46回日本腎臓病学会総会, 2003, 5, 東京.
- 36) 常田孝幸, 水牧功一, 藤木 明, 菅生昌高, 阪部優夫, 西田邦洋, 井上 博: Brugada症候群のST上昇に対するピルジカイニドとフレカイニドの効果の差異 — ニフェカラン併用による検討. 第18回日本心臓ペースング・電気生理学学会, 2003, 5, 京都.
- 37) 藤木 明, 菅生昌高, 常田孝幸, 西田邦洋, 阪部優夫, 水牧功一, 井上 博: 通常型心房粗動に認めた8の字型旋回経路. 第33回臨床心臓電気生理研究会, 2003, 5, 東京.
- 38) 高嶋修太郎, 田口芳治, 浅岡悦子, 井上 博: 高Lp(a)血症は心原性脳塞栓症の危険因子である. 第44回日本神経学会総会, 2003, 5, 横浜.
- 39) 浅岡悦子, 田口芳治, 高嶋修太郎, 井上 博: 頭蓋内圧亢進症の緩徐進行例と急性発作例. 第21回神経治療学会総会, 2003, 6, 福島.
- 40) 中川泰三, 高沢弘樹, 道具伸浩, 田口芳治, 平出聡, 上野 均, 供田文宏, 泉野 潔, 高嶋修太郎, 小澤哲夫: フェニトイン誘発性のTTPに合併したReversible Posterior leukoencephalopathyの1例. 第190回日本内科学会北陸地方会, 2003, 6, 福井.
- 41) 杉森弘子, 供田文宏, 平出 聡, 小池 勤, 絹野裕之, 井上 博, 林省一郎, 中村國男, 高田正信: 血液透析患者における血液粘性の臨床的な意義. 第48回日本透析医学会総会, 2003, 6, 大阪.
- 42) 菅原秀徳, 泉野 潔, 廣瀬雅代, 加藤陽一, 折原理顕, 杉森弘子, 鍵谷聡志, 平出 聡, 上野 均, 供田文宏, 井上 博: 副腎皮質ステロイド減量が困難であった被嚢性腹膜硬化症 (EPS) の1例. 第48回日本透析医学会総会, 2003, 6, 大阪.
- 43) 平出 聡, 供田文宏, 杉森弘子, 小池 勤, 井上 博, 林省一郎, 平田 仁, 中村國男, 高田正信: 血液透析患者での動脈硬化の危険因子; 実効的硬化度 $\beta_e$ を用いた解析. 第48回日本透析医学会総会, 2003, 6, 大阪.
- 44) 加藤陽一, 山寄継敬, 道具伸浩, 田口芳治, 平井忠和, 上野 均, 能澤 孝, 高嶋修太郎, 麻野井英次, 井上 博: 感染性心内膜症に合併したMultiple septic embolismsの1例. 第106回日本神経学会東海北陸地方会, 2003, 6, 愛知.
- 45) 亀山智樹, 山寄継敬, 中館照雄, 松木 晃, 五十嵐典士, 山田邦博, 加藤文一, 井川晃彦, 平井忠和, 能澤 孝, 麻野井英次, 井上 博: Negative Remodeling例の再狭窄に関連する因子の検討. 第106回日本循環器学会北陸地方会, 2003, 7, 福井.
- 46) 藤木 明, 菅生昌高, 常田孝幸, 西田邦博, 阪部優夫, 水牧功一, 井上 博: 通常型心房粗動に認めた二重旋回経路. 第106回日本循環器学会北陸地方会, 2003, 7, 福井.
- 47) 廣瀬雅代, 菅原秀徳, 道具伸浩, 浅岡悦子, 田口芳治, 上野 均, 供田文宏, 高嶋修太郎, 麻野井英次, 井上 博: SIADHを合併した pure autonomic failureの1例. 第191回日本内科学会北陸地方会, 2003, 9, 金沢.
- 48) 水牧功一, 藤木 明, 西田邦博, 阪部優夫, 常田孝幸, 菅生昌高, 長澤秀彦, 井上 博: Brugada症候群のST上昇に及ぼすRR間隔の影響. 第20回日本心電学会学術集会, 2003, 9, 東京.
- 49) 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: 凝血分子マーカーによる塞栓症発症リスクの層別化. 第51回日本心臓病学会, 2003, 9, 東京.
- 50) 能澤 孝, 井上 博: 心房細動への挑戦—塞栓症. 第20回日本心電学会学術集会, 2003, 9, 東京.
- 51) 菅生昌高, 藤木 明, 常田孝幸, 阪部優夫, 西田邦洋, 水牧功一, 井上 博, 佐竹伊津子, 林史郎: 24時間ホルター心電図から求めた健常成人例の心拍数別QT時間; 年齢と性別の影響. 第20回日本心電学会学術集会, 2003, 9, 東京.
- 52) 阪部優夫, 藤木 明, 西田邦洋, 長澤秀彦, 常田孝幸, 菅生昌高, 水牧功一, 井上 博: 高頻度ペースングによる頻脈性心房細動モデルに対するACE阻害薬の効果について. 第20回日本心電学会学術集会, 2003, 9, 東京.
- 53) 山田邦博, 麻野井英次, 上野博志, 織田慶孝, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: 運動耐容能及び神経体液性因子からみた慢性心不全における貧血の重要性. 第51回日本心臓病学会学術集会, 2003, 9, 東京.
- 54) 麻野井英次, 山田邦博, 上野博志, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: 慢性心不全の運

- 動時呼吸循環調節へのシステム生理学的アプローチ. 第51回日本心臓病学会 パネルディスカッション 4「運動負荷試験から見た心不全の病態と治療」, 2003, 9, 東京.
- 55) 松木 晃, 能澤 孝, 中館照雄, 五十嵐典士, 加藤文一, 井川晃彦, 麻野井英次, 井上 博: 心臓MIBG集積異常と安静時および運動負荷直後の迷走神経活動について. 第51回日本心臓病学会, 2003, 9, 東京.
- 56) 中川圭子, 平井忠和, 櫻井健二, 能澤 孝, 麻野井英次, 井上 博, 北島 勲, 谷みね子: 心房細胞例における高感度CRPについての検討—凝血学的分子マーカーとの関連. 第51回日本心臓病学会, 2003, 9, 東京.
- 57) 上野博志, 麻野井英次, 山寄継敬, 山田邦博, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: 慢性心不全患者における中枢性炭酸ガス感受性のピットフォール; 体位による変動. 第51回日本心臓病学会, 2003, 9, 東京.
- 58) 藤木 明: 教育講演19 心房細動の薬物治療. 第51回日本心臓病学会学術集会, 2003, 9, 東京.
- 59) 菅原秀徳, 泉野 潔, 廣瀬雅代, 中川泰三, 小池 勤, 上野 均, 供田文宏, 井上 博: ネフローゼ症候群を合併した非Hodgkinリンパ腫 (マントル細胞リンパ腫) の1例. 第33回日本腎臓学会西部学術大会, 2003, 10, 名古屋.
- 60) 中川泰三, 石丸和宏, 高林大輔, 小池 勤, 菅原秀徳, 上野 均, 供田文宏, 泉野 潔, 井上 博: ベーチェット病に合併したIgA腎症の1例. 第33回日本腎臓学会西部学術大会, 2003, 10, 名古屋.
- 61) 高田麻衣子, 田口芳治, 高嶋修太郎, 浅岡悦子, 道具伸浩, 井上 博: IVIg療法が有効であったシェーグレン症候群に伴う感覚性運動失調型ニューロパチーの1例. 第107回日本神経学会東海北陸地方会, 2003, 10, 富山.
- 62) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田口芳治, 浅岡悦子, 井上 博: 原因としてVasospasmが疑われた若年性脳梗塞の1例. 第107回日本神経学会東海北陸地方会, 2003, 10, 富山.
- 63) 浅岡悦子, 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 井上 博: 成人発症神経型Wilson病の1例. 第107回日本神経学会東海北陸地方会, 2003, 10, 富山.
- 64) 高橋絹代, 中林千代子, 西尾礼文, 布施秀樹, 折原理顕, 山寄継敬, 井上 博, 泉野 潔, 片山 喬: 低体温療法後に臓器提供に至った1症例. 第39回日本移植学会総会, 2003, 10, 大阪.
- 65) 絹野裕之, 供田文宏, 小池 勤, 杉森弘子, 井上 博, 高田正信: Dahl食塩感受性ラットでの腎障害の進行における腎交感神経系の役割. 第26回日本高血圧学会総会, 2003, 10, 宮崎.
- 66) 小池 勤, 供田文宏, 絹野裕之, 杉森弘子, 高橋 徹, 安本耕太郎, 井上 博: 高尿酸血症を合併した本態性高血圧患者における心血管系の構造異常とその成因に関する検討. 第26回日本高血圧学会総会, 2003, 10, 宮崎.
- 67) 鍵谷聡志, 上野 均, 石丸和宏, 高林大輔, 高田正信, 井上 博: DOCA食塩高血圧ラットの心臓リモデリングにおける低分子量G蛋白Rhoの役割. 第26回日本高血圧学会総会, 2003, 10, 宮崎.
- 68) 小方則夫, 四間丁千枝, 桑守美千代, 高嶋修太郎, 井上 博: ウイルス肝炎対策: B型肝炎ワクチン接種後感染防御最小HBs抗体価設定の注意点. 第41回全国大学保健管理研究集会, 2003, 10, 金沢.
- 69) 杉森弘子, 供田文宏, 絹野裕之, 小池 勤, 井上 博, 高田正信: 本態性高血圧患者での血液粘性の規定因子と意義; 安静時とストレス下での差異. 第26回日本高血圧学会総会, 2003, 11, 宮崎.
- 70) Mizumaki K., Fujiki A., Sakabe M., Nishida K., Tsuneda T., Sugao M., Nagasawa H., Inoue H.: Vagal activity modulates spontaneous augmentation of ST elevation in daily life in Brugada syndrome. 76th American Heart Association Scientific Sessions, 2003, 11, Orlando.
- 71) Hirade S., Tomoda F., Koike T., Kinuno H., Inoue H., Takata M.: Unlo factors associated with increased arteri cl stiffness in hemodialysis patients. 36th Annual Meeting of American Society of Nephrology, 2003, 11, SanDiego.
- 72) Asanoi H.: Does volume reduction limit diastolic LV function?. 第5回 International Symposium Less Invasive Volume Reduction Procedures, 2003, 11, 東京.
- 73) 山田邦博, 麻野井英次, 茶谷健一, 山寄継敬, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: 心不全患者における運動時の炭酸ガス化学反射感受性. 日本循環器学会第122回東海第107回北陸合同地方会, 2003, 11, 名古屋.
- 74) 平井忠和, 能澤 孝, 中川圭子, 亀山智樹, 麻野井英次, 井上 博: 高齢者心房細動例における抗凝固レベルの変動とその要因について. 第14回

日本老年医学会北陸地方会, 2003, 11, 富山.

- 75) 常田孝幸, 藤木 明, 阪部優夫, 水牧功一, 井上 博: QT短縮を伴うBrugada症候群に認めたICD誤作動. 日本循環器学会第122回東海107回北陸合同地方会, 2003, 11, 名古屋.
- 76) 五十嵐典士, 井川晃彦, 織田慶孝, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 麻野井英次, 井上 博, 中村智之: 周産期に発生した好酸球性心筋炎の1例. 日本循環器学会第122回東海107回北陸合同地方会, 2003, 11, 名古屋.
- 77) 茶谷健一, 麻野井英次, 山寄継敬, 山田邦博, 中川圭子, 能澤 孝, 平井忠和, 亀山智樹, 井上 博: 超音波組織ドプラー法を用いた時系列解析による左室壁asynchronyの評価. 日本循環器学会第122回東海第107回北陸合同地方会, 2003, 11, 名古屋.
- 78) 田口芳治, 竹園ちひろ, 田原克寿, 橋本征也, 井川晃彦, 能澤 孝, 井上 博: 日本人中・高齢者患者におけるメトプルロール体内動態の非線形混合効果モデル解析. 第24回日本臨床薬理学会, 2003, 12, 横浜.

#### ◆ その他

- 1) 藤木 明: 心房細動の治療の実際 リズムコントロールの新たな展開. 第67回日本循環器学会総会 ランチョン, 2003, 3, 福岡.
- 2) 田口芳治, 高嶋修太郎, 浅岡悦子, 井上 博, 井上雄吉: SIADHを合併した慢性炎症性脱髄性多発神経炎の1例. 第5回北陸神経疾患研究会, 2003, 3, 金沢.
- 3) 常田孝幸, 藤木 明, 阪部優夫, 水牧功一, 井上 博: 右房後壁の横方向伝導を有する心房粗動の特徴. 第21回アブレーションカンファレンス, 2003, 4, 名古屋.
- 4) 藤木 明: 心臓突然死の心電図の見方. 第18回日本心臓ペースング・電気生理学大会 心臓ペースメーカー技師養成のためのセミナー, 2003, 5, 京都.
- 5) 藤木 明, 常田孝幸, 阪部優夫, 水牧功一, 井上 博: 長期持続性心房細動に対する薬物的除細動の有効性: 電気的除細動との比較. 第1回不整脈薬物治療フォーラム, 2003, 5, 東京.
- 6) 水牧功一: Neurally mediated syncope. 第18回日本心臓ペースング・電気生理学学会学術集会, 教育セッションⅢ, 2003, 5, 京都.
- 7) 藤木 明: 心房細動の治療のポイント. 西砺波郡医師会学術講演会, 2003, 6, 小矢部.
- 8) 櫻井健二, 中川圭子, 亀山智樹, 平井忠和, 麻

野井英次, 井上 博, 深原一晃, 湖東慶樹, 三崎拓郎, 阪部優夫, 和田 功: 手術にて救命し得た超高齢者の乳頭筋断裂の1例. 第10回北陸循環器超音波研究会, 2003, 6, 金沢.

- 9) 菅生昌高, 藤木 明, 常田孝幸, 水牧功一, 井上 博: 特発性心室細動の再分極異常の特徴—無症候性Brugada症候群との比較—. 第23回ホルター心電図研究会, 2003, 6, 東京.
- 10) 水牧功一, 藤木 明, 常田孝幸, 阪部優夫, 西田邦洋, 菅生昌高, 井上 博: Brugada症候群におけるST上昇と自律神経活動—単極誘導Holter心電図による検討—. 第23回ホルター心電図研究会, 2003, 6, 東京.
- 11) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 浅岡悦子, 井上 博: 右中大脳動脈領域梗塞により交叉性失語を呈した1例. 第27回富山県臨床神経研究会, 2003, 6, 富山.
- 12) 浅岡悦子, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 田口芳治, 井上 博: 神経型Wilson病の治療経験. 第2回北陸パーキンソン病研究会, 2003, 6, 金沢.
- 13) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 浅岡悦子, 田口芳治, 井上 博, 桑山直也: 超急性期から慢性期まで治療した心原性脳塞栓症の1例. 第38回北陸神経内科懇話会, 2003, 7, 金沢.
- 14) 水牧功一, 藤木 明, 阪部優夫, 西田邦洋, 常田孝幸, 菅生昌高, 井上 博: 器質的心疾患に合併した難知性心房性不整脈に対するニフェカラントの効果. 第2回ニフェカラント研究会, 2003, 7, 東京.
- 15) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 浅岡悦子, 田口芳治, 中川圭子, 平井忠和, 水牧功一, 藤木 明, 井上 博, 久保道也, 桑山直也, 遠藤俊郎: 超急性期から慢性期まで治療した心原性脳塞栓の1例. 第38回北陸神経内科懇話会, 2003, 7, 金沢.
- 16) 阪部優夫, 藤木 明, 常田孝幸, 水牧功一, 井上 博: 心機能障害例の心房細動に対するアミオダロンの効果. 北陸アミオダロン講演会, 2003, 9, 金沢.
- 17) 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博, 弘前大学第二内科 岩佐 篤, 奥村 謙, 福井医科大学第一内科 李鐘大, 山口大学医療情報部 清水昭彦, 長崎大学第三内科 早野元信, 矢野捷介: 心房細動のコントロール; 凝血分子マーカーによる塞栓症発症リスクの層別化. 第51回日本心臓病学会学術集会シンポジウム2003, 9, 東京.
- 18) 水牧功一: Neurally mediated syncope(NMS)の機序. 第20回日本心電学会学術集会, ファイ

アサイドカンファレンス■, 2003, 9, 東京.

- 19) 田口芳治, 高田麻衣子, 道具伸浩, 浅岡悦子, 高嶋修太郎: 高齢で発症し, IVIg療法が有効であったシェーグレン症候群に伴う感覚性運動失調型ニューロパチーの1例. 第5回北陸神経免疫フォーラム, 2003, 9, 金沢.
- 20) 藤木 明: 不整脈といわれたら. 第12回産業保険担当者健康セミナー, 2003, 11, 富山.
- 21) 藤木 明: 不整脈といわれたら. 健康講話, 2003, 11, 富山.
- 22) 藤木 明: 持続性心房細動に対する抗不整脈薬治療の新しいアプローチ. 不整脈と薬物治療 福井セミナー, 2003, 1, 福井.
- 23) 藤木 明: 日常診療における不整脈診断の新しい試み. 能登地区循環器内科講演会, 2003, 11, 七尾.
- 24) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 浅岡悦子, 田口芳治, 井上 博: 過去7年間に当科で経験した脳炎に関する考察. 第28回富山県臨床神経研究会, 2003, 11, 富山.
- 25) 常田孝幸, 藤木 明, 阪部優夫, 西田邦洋, 菅生昌高, 水牧功一, 井上 博: 心機能低下例の持続性心房細動に対する薬理的除細動. 第17回北陸不整脈薬物治療研究会, 2003, 11, 金沢.
- 26) 阪部優夫, 藤木 明, 常田孝幸, 水牧功一, 井上 博: 心房細動治療におけるACE阻害薬併用の意義~イヌ心房高頻拍刺激モデルによる検討~. 第30回抗不整脈薬併用療法研究会, 2003, 12, 東京.

## 内 科 学 (3)

### Internal Medicine (3)

|        |       |                    |
|--------|-------|--------------------|
| 教 授    | 渡辺 明治 | Akiharu Watanabe   |
| 助 授    | 高原 照美 | Terumi Takahara    |
| 助教授(前) | 樋口 清博 | Kiyohiro Higuchi   |
| 講 師    | 清水 幸裕 | Yukihiro Shimizu   |
| 講 師    | 峯村 正実 | Masami Minemura    |
| 助 手    | 加藤 勤  | Tsutomu Kato       |
| 助 手    | 北 啓一朗 | Keiichiro Kita     |
| 助 手    | 新敷 吉成 | Yoshinari Atarashi |
| 助 手    | 折原 正周 | Tadahiro Orihara   |
| 助 手    | 村上 純  | Jun Murakami       |
| 助 手    | 矢田 豊  | Yutaka Yata        |
| 技 官    | 桑原 芳弘 | Yoshihiro Kuwabara |

### ◆ 著 書

- 1) Takahara T., Yata Y., Zhang L. P., Watanabe A.: Gene expression of matrix metalloproteinases in acute and chronic liver injuries. In: Extracellular Matrix and the Liver-Approach to Gene Therapy (eds. Okazaki I., Ninomiya Y., Friedman SL., Tanikawa K.), Academic Press, Amsterdam, 333-346, 2003.
- 2) 渡辺明治: 肝不全. 「新臨床内科学〔コンパクト版〕第3版」高久史磨他編, 297-298, 医学書院, 東京, 2003.
- 3) 渡辺明治: 肝硬変 肝性脳症. 「消化器疾患 最新の治療」戸田剛太郎他編, 2003~2004, 333-335, 南江堂, 東京, 2003.
- 4) 渡辺明治: 脾腫大. 「内科学 第8版」杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦総編集, 152-154, 朝倉書店, 東京, 2003.
- 5) 渡辺明治: 肝腫大. 「内科学 第8版」杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦総編集, 151-152, 朝倉書店, 東京, 2003.
- 6) 渡辺明治: 慢性肝炎にみられる認知機能の異常. 「消化器診療二項の秘訣」加嶋 敬編, 136-137, 金原出版社, 東京, 2003.
- 7) 渡辺明治: 小腸の働き. 「小腸機能からみた経腸栄養ハンドブック」渡辺明治編著, 9-16, メディカルレビュー社, 大阪, 2003.
- 8) 渡辺明治: 食べることの意味. 「小腸機能からみた経腸栄養ハンドブック」渡辺明治編著, 23-30, メディカルレビュー社, 大阪, 2003.
- 9) 渡辺明治: 栄養素を計算するのに参考になる式.